
がん検診 受診率向上の取組

働く世代の受診率向上に向けた取組①

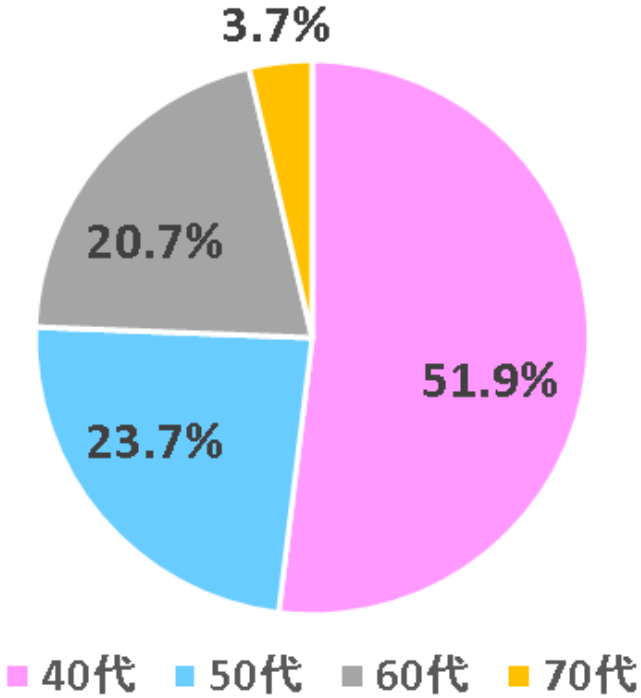
保険者連携による集団検診の合同実施

協会けんぽ広島支部が実施する、協会けんぽの被扶養者を対象とした特定健診会場において、本市の5つのがん検診を合同実施した。受診者のうち、40～50歳代の割合が**75.6%**であった。

R 4	実施会場	受診者数
6回	LECT	158人
	イオンモール広島祇園	214人
	合計	372人

R 3	実施会場	受診者数
6回	マリーナホップ	80人
	イオンモール広島祇園	239人
	合計	319人

【R4保険者連携による集団検診の受診者年代別割合】



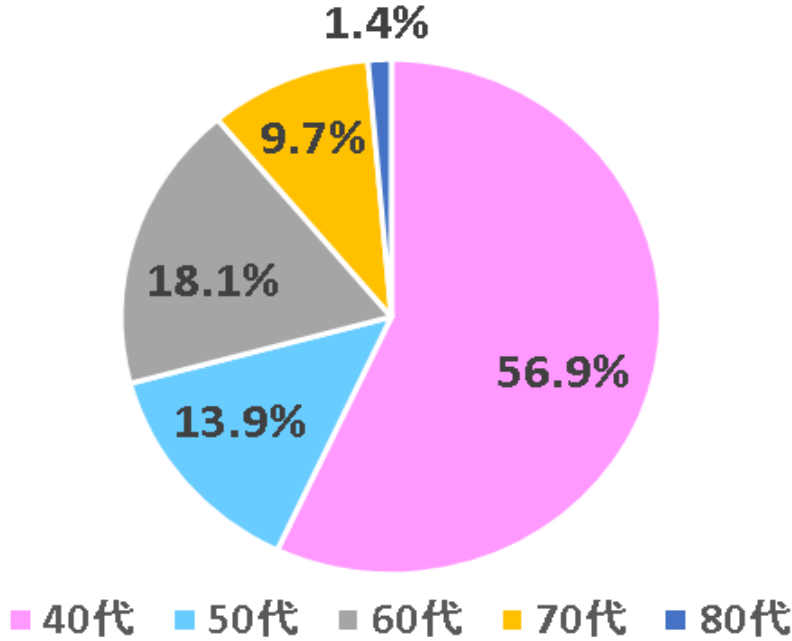
働く世代の受診率向上に向けた取組②

夜間集団検診の実施

日中、仕事や育児等で検診を受診することが難しい働く世代をターゲットに夜間集団検診を実施した。
受診者のうち、40～50歳代の割合が**70.8%**であった。

実施月	実施会場	R4受診者数	R3受診者数
6月	南区役所別館	9人	—
7月	西区地域福祉センター	13人	9人
8月	イオンモール広島祇園	33人	37人
10月	吉島福祉センター	12人	8人
11月	東区総合福祉センター	5人	11人
合計		72人	65人

【R4夜間集団検診の受診者年代別割合】



➡ 開催時期や集客力のある会場等分析し、取組①・②についてR5年度も継続実施

受診率向上に向けた新規の取組①

子宮頸がん検診未受診者への個別受診再勧奨

1 1月末時点の広島市子宮頸がん検診未受診の21～39歳の女性に対し、個別受診再勧奨を実施した。

郵便はがき

料金後納郵便

～広島市からの再度のお知らせ～
子宮頸がん検診受診のお願い



このハガキが届いた方には、
子宮頸がん検診の「受診券」を
令和3年4月に送付しています。

広島市子宮頸がん検診受診券の
有効期限は **令和5年3月31日(金)** です

①このハガキは、「受診券」ではありません。

広島市子宮頸がん検診 受診方法

STEP1 検診場所を以下から選びください。

① 医療機関
予約が必要な場合があります。
事前に医療機関へお問合せください。



▲医療機関一覧

② 集団検診
お近くの公民館や集会所等で受診できます。
WEB またはお電話(082-504-2298)にてご予約ください。



▲集団検診予約サイト

③ 広島市健康づくりセンター
予約が必要な場合があります。
事前に ☎082-544-8228 へお問合せください。

STEP2 検診を受診する。

受診券、自己負担金をお持ちになり、受診会場へお越しください。
※受診券を紛失した場合は再発行できますので、お住まいの区の保健センターへご連絡ください。



▲各区保健センター連絡先

《お問合せ先》
広島市健康福祉局保健部健康推進課
電話 (082)504-2298 FAX (082)504-2258
〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

参考：その他個別受診再勧奨	
①	広島県がん検診啓発特使を活用した本市がん検診受診券未利用者への再勧奨
②	女性特有のがん検診の無料クーポン券未利用者への再勧奨

受診率向上に向けた新規の取組②

リーフレットの作成

がんに関する知識の普及啓発と受診勧奨を目的としたリーフレットを作成し、各保健センター窓口での配付を実施した。

広島市が検診を実施する **がん**について

（胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん）

● 胃がん

胃がんは、50歳代以降に罹患する人が多く、がんによる死亡原因の多くを占めています。代食料不足に、胃の痛み・不快感、吐き気、食欲不登などがありますが、早期の段階では、自覚症状ほとんどなく、かなり進行しても症状がない場合もあります。

【予防】禁煙、減塩、ヘリコバクター・ピロリの検査が有効です。

● 肺がん

肺がんは、日本人の死亡者数第1位のがんです。たばこを吸う人は、たばこを吸わない人に比べ、肺がんで死亡するリスクが約4～5倍高くなります。

【予防】禁煙が有効です。禁煙を始めてから10年後には、禁煙しなかった場合と比較して、肺がんのリスクを約半分に減らすことができます。

リスク
4～5倍

● 大腸がん

大腸がんは、日本人の罹患率第1位のがんです。がんが進行すると、腹痛、便秘、下痢、血便、お尻が重くなるなどの症状が出る場合があります。

【予防】食物繊維を含む食品を食べること、運動が効果的です。また、禁煙、禁酒、脂肪摂取を、大腸がんの発生のリスクを低減します。

● 乳がん

乳がんは、女性の罹患率第1位のがんです。

主な症状は乳房のしこりですが、これは自分で見つけることもできます。入浴時など、日頃から自分の乳房を見たり触ったりして、セルフチェックしてみましょう。

【予防】禁煙を控え、喫煙後の受診を避けるため、適度な運動が有効です。

● 子宮頸がん

子宮頸がんは、近年、20～40歳代で増加傾向にあります。ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因で、HPVは性交渉で感染します。一度でも性交渉をした女性であれば、定期的にがん検診を受けましょう。

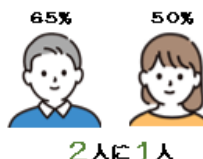
【予防】子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）の接種

定期的に受けて安心 **がん検診**

広島市では、悪性新生物（がん）が死亡原因の第1位です。

早期がんのほとんどは無症状であるため、早期発見するために、定期的に検診を受けることが重要です。

生涯にがんと診断される確率



（男性の場合）がんを発見する確率は約65%（2人に1人）です。

がんで死亡する確率



（男性の場合）がんによる死亡確率は約4割（4人に1人）です。

がんの5年生存率

早期発見された場合



（男性の場合）がんを発見する確率は約92.4%（9人に10人）です。

広島市では、厚労省が推奨する死亡率減少効果のある5つのがん検診を実施しています。

● もしも、要精密検査になったら？

精密検査を受けないと、がんであるかわからないため、必ず医療機関を受診しましょう。精密検査を受けた約7～9割の方は「異常なし」又は「がん以外の病気」と診断されました。



（令和2年度 広島市 がん検診結果）

広島市がん検診のご案内

● 対象の方

広島市国民健康保険被保険者、国民健康保険1号被保険者、60歳以上の方

※ 検診場ではがん検診の受診機会がない方は、各ページのお問合せ先へご連絡ください。がん検診の受診に必要な「がん検診受診券」をお送りできる場合があります。

● 内容

検診の項目	検診内容	自己負担額	対象年齢（年度末時点の年齢）
胃がん	胃内視鏡検診	2,200～3,300円	50歳以上の男性
胃がん	バリウムと胃・十二指腸検診	1,100～2,200円	40歳以上の男性
肺がん	胸部X線検診 ※医師の判断により 胸部CT検診と併用する場合	400円 ※400～900円	40歳以上の男性
大腸がん	検便による便潜血検診	400円	40歳以上の男性
乳がん	マンモグラフィー （乳房X線検診）	1,500～1,600円	40歳以上の女性
子宮頸がん	子宮頸部細胞診 ※医師の判断により HPV細胞診と併用する場合	1,000円 ※1,800円	20歳以上の女性

※ 胃内視鏡検診を受診した場合、X線検診を含む年度別のがん検診を受診できません。

※ 以下の方は、無料で受診できます。受診時に証明書類をご提示ください。

市町村長・副市長の方、生活保護世帯の方、受診時に70歳以上の方、

後援市町会医療提供協会の方



がん検診の受診方法

1 受診場所を①～③からお選びください。

予約が必要な場合がありますので、事前に各受診場所へお問合せください。

① がん検診実施医療機関

リンク先に「がん検診実施医療機関」一覧を掲載しています。



② 集団検診

お近くの農会や公民館等で受診できます。

予約専用 各082-504-2298 FAX 082-504-2258

【予約受付時間】平日9:00～16:30（8月6日及び12月29日～1月3日まで休）

（予約専用ページ）



③ 広島市健康づくりセンター（中区千田町3-8-6）

予約専用 各082-544-8228

【予約受付時間】平日9:00～16:00（12月29日～1月4日まで休）

2 検診を受診します。

受診場所に、がん検診の受診券、自己負担金を（自己負担金無償の方は証明書類）ご持参ください。



● お問合せ先

中区地域支所4課	082-504-2528	安芸南広島地域支所4課	082-831-4942
東広島地域支所4課	082-558-7729	安芸北広島地域支所4課	082-819-0596
南区地域支所4課	082-250-4108	安芸西広島地域支所4課	082-821-2800
西区地域支所4課	082-294-6205	佐伯市地域支所4課	082-943-9731

R3年度からの継続取組

①	市5つのがん検診と特定健康診査を同時に受診できるミニ人間ドックを実施 78回開催予定（R3年度実施回数：45回）
②	その他 ・保健センターにおける健康教育、ポスターの掲示やチラシの配布 ・市広報誌、市ホームページや子ども子育て応援アプリ、SNSによる情報発信 ・地域団体、大学、民間企業と連携した知識の普及啓発 など